

新年のご挨拶

公益社団法人 川崎南法人会 会長 梶川 修司



新年明けまして、おめでとうございます。
 新春を迎え、謹んで会員の皆様をはじめ、ご家族の皆様にご心よりお慶び申し上げます。
 旧年中は、役員並びに会員の皆様方には、法人会活動の充実と発展に多大なご尽力をいただきまして心から厚くお礼申し上げます。
 昨年を顧みますと、アベノミクスにより大胆な金融緩和は円安株高をもたらし、企業は輸出関連を中心に好決算が相次いでいます。しかしながら足元の景気状況については、個人消費等に弱さがみられ経済の好循環の実現が十分には進展していないようにみえます。

こうした状況の中で、私ども法人会では、民間における税のオピニオンリーダーを目指して様々な活動しております。特に、社会貢献活動の一環と致しまして、昨年で13回目を迎えた「米海軍第七艦隊音楽隊コンサート」の開催、当日は台風の影響にもかかわらず、1,387名の一般の方々及び会員の皆様方に参加をいただきました。

また、租税教育にも力をいれ、具体的には、学童保育「わくわくプラザ」での租税教室や夏休みイベント「租税教室と映画鑑賞会」の開催をはじめとして、租税教室で「税」について学んだり考えたことを「絵はがき」という作品で表現してもらう「税に関する絵はがきコンクール」を実施しております。これらも小学生から税の大切さを理解してもらうことで、納税意識の高揚を図ることを目的としております。

その他には、「幸区民祭」・「かわさき市民まつり」への参加、11月には「税を考える週間」行事の一環といたしまして、川崎南税務署の白井署長様による「税の役割と税務署の仕事」の講演、また、2部には、宇宙航空研究開発機構の川名名誉教授による「はやぶさの軌跡」のテーマで講演を行いました。

これらの諸行事が地域の皆様方に喜んでいただけたとすれば、ひとえに役員をはじめ会員の皆様方のご尽力あつてのことと存じます。

さて、当会も平成25年4月1日公益社団法人川崎南法人会としてスタートして、3年目を迎え、更なる事業の公益性、透明性が求められ、本部・支部・部会活動の活性化を図り、地域社会の一員としての充実を図ることを役員一同総力をあげて取り組んでまいります。

結びになりますが、今年も新しい年が明るく、輝かしい年となることを切望すると共に、会員の皆様方の事業のますますのご繁栄を心から祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

新年の御挨拶

川崎南税務署 署長 白井 純夫



新年あけましておめでとうございます。
 平成28年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 旧年中は、梶川会長はじめ役員並びに会員の皆様方には、税務行政の円滑な運営に深い御理解と格別な御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
 昨年を振り返りますと、「食」をテーマにしたミラノ万博にて展示デザイン部門金賞受賞、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産登録、日本人2名のノーベル賞受賞、ラグビーワールドカップにおける日本チームの活躍など世界に向けて日本の名前が発信された年であったように感じます。

貴会におかれましては、講演会並びに租税教室の実施などを通じて、正しい税知識の普及と納税意識の向上に努められる一方、社会貢献活動としての「米海軍第七艦隊音楽隊コンサート」の開催や「かわさき市民祭り」、「幸区民祭」への参加など地域に密着した活動に積極的に取り組んでいただいたことに対しまして、心から敬意を表する次第であります。

私どもが税務行政を円滑に運営していくためには、皆様方の御理解と御支援が是非とも必要となります。会員の皆様方には、本年1月から利用が開始された社会保障・番号制度の定着、租税教育の充実及びe-Taxの普及などにつきまして、引き続き一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに当たり、本年が、会員の皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。